

## 個別事業

### 『県営農地防災事業（安食川Ⅱ期地区）』の再評価

#### ●委員

農地が湛水するのは、よろしくないなので、事業は継続していただきたいと思う。

直接関係ないかもしれないが、現在、琵琶湖の水位が下がり、川の水位も低いので、浚渫するにいいタイミングだと思うが、他の川ではそのようなことは実施していないのか。

#### ○事務局

琵琶湖の水位低下に伴い、河口部の水位も低下していることから、実施個所を選定し浚渫を進めているところ。

#### ●委員

野洲川など、かさ上げや地盤が弱い部分にも使えるので、補正予算を活用して、どんどん進めてほしい。

#### ○事務局

必要箇所の取組を進めてまいる。

#### ●委員

石とか土などは、貴重な資産であるので、今のうちに確保しておいたほうがよいのでは。

#### ○事務局

土質の状況にもよるが、使える分については、再利用していきたい。

土地改良の分野でも、河川からの浚渫土を嵩上げなどほ場整備に使える土として利用している。連携して無駄がないようにしている。

#### ●委員

水害を防ぐために、農業用排水路が機能するように進めていただきたい。

●委員

代替性のない合理的な計画という表現が、何をもってそうしているのか具体的に示したほうがよいのでは。

○事務局

もともと昭和の時代につくられた水路と同じ場所で事業を実施しているので、費用面で、合理的となっている。

●委員

一級河川を改修する場合の実施主体はどこなのか。

○事務局

滋賀県が実施している。もともとは農業用排水路として作られ、あとから一級河川に指定されたが、今も農業用排水路として使っている。

●委員

土地の名義はどうなっているのか。

○事務局

一級河川なので、名義は国土交通省となっている。

●委員

現在工事がどこまで進んでいるのか

○事務局

全体2.5kmのうち、約60%進んでいる。

●委員

順調にいくと、残り4年で終われるのか。

○事務局

令和9年度に終わる見込み。